

2年修士学位プログラム

夜間/土曜 開講 | 港区六本木

国際的指導力育成プログラム

Global
Leadership
Development
(GLD)
Program

2023



政策研究大学院大学
NATIONAL GRADUATE INSTITUTE
FOR POLICY STUDIES



詳細は、ウェブサイト
<http://www.grips.ac.jp/>まで

プログラム紹介 1

■ 組織や国のブランドに依存しない人材の育成

激動する世界のなかで、日本が非欧米社会で唯一の先進経済大国として特別待遇を受ける時代は終わりました。日本の政府職員であるから、有力企業の職員であるからというだけで一目おいてもらえることはありません。こうした世界のなかでは、情勢やトレンドを正確に理解し、的確な対応をとることのできる、構想力、指導力、コミュニケーション能力を兼ね備えた人材が必要になります。そして、そうした人材が各組織の総合力と結びつくことによって、日本と世界を変える力が発揮されることになります。

多様化・専門化する国際社会で、リーダーシップを発揮する「真の外交力」が必要とされるのは外務省だけではありません。今では、すべての中央省庁、関係機関、地方自治体が何らかの形で世界とつながり、「真の外交力」の必要性を感じています。民間企業は、「地政学リスク」を的確に判断しつつ、関係企業、各国政府、国際機関、さらにはNGOと交渉し、協力関係を築くことのできる人材を必要としています。メディアは、国際情勢を日本に伝えるだけでなく、独自の分析や切り口を提示し、世界に発信することのできる人材を求めています。

■ 「国際的指導力育成プログラム」とは？

「国際的指導力育成プログラム」は、夜間(通常19:30~21:00、一部19:30~21:30)と土曜日に開講される講義を履修するとともに、英語で修士論文を執筆することで、働きながら2年間で修士号を取得できるプログラムです。募集対象は、政府、公共機関、民間企業などで国際業務に携わる幹部および幹部候補職員です。講義の多くは日本語で行いますが、演習の一部と学位論文の執筆は英語で実施します。英語で議論したり、論文を執筆したりする能力を高めるための講義や演習もプログラムに組み込まれています。

組織や国のブランドに依存しない 国際交渉を率いる人材

学術的理論に裏付けられた《真の外交力》			
必要とされる力	世界各地の地域情勢の把握	日本と世界の近代史への理解	国際関係研究手法の習得
	国際法、国際経済、安全保障等に関する様々な知識	英語による交渉力の習得	戦略論の基礎の習得
講義内容	学術的理論武装(アカデミック科目) 国際経済 / 国際法 / 地政学リスク / 安全保障 / 外交戦略		
	プロフェッショナルスキル(実践科目) 国際関係・外交シミュレーション / 国際交渉 / 交渉と発信のための英語		
対象者	国・地方の政策担当者	民間企業職員	メディア従事者

修了生・ 在学生の 所属機関

- 朝日新聞社 ●宇宙航空研究開発機構(JAXA) ●海上保安庁 ●外務省 ●経済産業省 ●公安調査庁
- 国際協力機構(JICA) ●水産庁 ●大和フード&アグリ株式会社 ●デロイト トーマツ コンサルティング合同会社
- 日本経済新聞社 ●日本経済団体連合会 ●日本貿易振興機構(JETRO) ●農林水産省 ●防衛省・自衛隊
- 毎日新聞 ●文部科学省

■ 在学生コメント



請井 悠貴子 さん

(デロイト トーマツ コンサルティング合同会社)

本プログラムは、安全保障・外交戦略論など、政策の最前線で豊富な経験をお持ちの先生方による実践的な講義を受講し、英語で修士論文を書くことで、仕事をしながら修士号を取得できるようになっています。仕事と学業の両立は大変ですが、世界情勢を踏まえた「日本の今後の打ち手」や「他国からの評価」などをシミュレーションできる点がとても有意義です。特に米中の新冷戦やウクライナ侵攻など、いつ何が起きても不思議でない今の世界において、必要な思考力・知識・判断力の習得に繋がると感じています。



保坂 昌宏 さん

(農林水産省)

本プログラムに参加することで、物事を様々な視点から見られるようになったと感じています。例えば、同じ世界貿易機関(WTO)についても、交渉論の立場から合意に向けた過程を分析するのと、国際法の立場から紛争処理を行う過程を理解するのでは、見えてくる景色が大きく異なります。また、本プログラムには官民双方から多様な専門を持つ社会人が参加しているので、皆さんとともに学ぶことで視野が広がり、日々の業務や研究を行う上でも大きな刺激となっています。

プログラム紹介 2

授業科目(夜間・土曜開講のもの)

- 外交アカデミー 1~4
- 国際関係の理論と研究方法
- 国際法
- 経済政策分析
- 国際経済交渉論
- 外交戦略論
- 外交交渉論
- 安全保障論
- 国際関係の理論と研究方法演習
- 国際関係・外交シミュレーション
- Principles of Effective Communication
- Effective Communication for Global Leaders

外交アカデミー

「外交アカデミー」は、国際交渉や国際会議で活躍する高度な国際交渉能力と洗練されたコミュニケーション能力を持つ人材を育成するため、2015年からGRIPSのシンクタンクである政策研究院が開講している国家公務員・政府機関職員向けのプログラムです。外交アカデミーでは、著名なスピーチライターである谷口智彦氏ら、国際経験の豊富な実務家、学識経験者が講師として高度で実践的な講義を行っています。

「国際的指導力育成プログラム」の学生は、「外交アカデミー」を受講することで、学位取得に必要な単位の一部を得ることができます。

プログラム担当教員



道下 徳成 政策研究大学院大学 副学長・教授・GLDプログラムディレクター

学 位：ジョーンズ・ホプキンス大学高等国際問題研究大学院 (SAIS) (Ph.D.)

専門分野：安全保障論、日本の安全保障・外交政策、朝鮮半島の安全保障

主な経歴：内閣官房副長官補付参事官補佐、防衛省防衛研究所主任研究官、Woodrow Wilson International Center for Scholars客員研究員等

担当講義：国際関係・外交シミュレーション、International Security Studies



カテリナ・ペチコ 政策研究大学院大学 教授

学 位：テンブル大学 (Ed.D.)

専門分野：教育学、言語教育

主な経歴：上智大学経済学部非常勤講師

担当講義：Principles of Effective Communication, Effective Communication for Global Leaders



マシュー・ブラマー 政策研究大学院大学 助教授・GLDプログラム副ディレクター

学 位：東京大学 (博士号)、コロンビア大学 (Master of International Affairs)

専門分野：科学技術イノベーション政策・外交

主な経歴：経済産業省英語スピーチライター、The Economistアナリスト

担当講義：国際関係の理論と研究方法演習

講義を担当するスペシャリスト



兼原 信克 同志社大学 教授。政策研究大学院大学 客員教授

専門分野：国際政治学、安全保障論、外交史

主な経歴：外務省国際法局長、内閣官房副長官補、国家安全保障局次長

主な著書：『安全保障戦略』日本経済新聞出版、2021年。『日本の対中戦略』PHP研究所、2021年。

『歴史の教訓—「失敗の本質」と国家戦略』新潮社、2020年。

このほか、伊藤隆敏(本学客員教授、コロンビア大学国際関係・公共政策大学院教授)、川崎研一(本学教授)、篠田邦彦(本学教授、前経済産業省通商交渉官)、田中明彦(本学客員教授、国際協力機構理事長)、田村暁彦(内閣官房TPP等政府対策本部審議官)、鶴岡公二(前駐英大使、元TPP首席交渉官)、廣中雅之(元航空自衛官・空将)の各氏が本プログラムの講義を担当しています。

なお、時間さえとれるのであれば、本プログラムの学生は昼間に開講されている本学の講義を履修することもできます。

プログラム概要

学位	修士(政策研究)	2022年9月17日(土)～10月13日(木)	出願(第1回試験)
授業言語	日本語・英語(学位論文は英語)	11月4日(金)	書類審査結果発表(//)
標準修業年限	2年(4月入学)	11月10日(木)または11日(金)	オンライン面接(//)
募集人員	10名程度	11月24日(木)	最終結果発表(//)
選抜方法	書類審査及び面接	12月13日(火)～2023年1月5日(木)	出願(第2回試験)
学費	検定料30,000円、入学科282,000円、授業料642,960円(年間)	2月2日(木)	書類審査結果発表(//)
開講時間帯	夜間/土曜	2月8日(水)または9日(木)	オンライン面接(//)
場所	港区六本木 大江戸線六本木駅より徒歩5分/千代田線乃木坂駅より徒歩6分/日比谷線六本木駅より徒歩10分	2月24日(金)	最終結果発表(//)

政策研究大学院大学(GRIPS)の特色

国際的な研究・教育環境

キャンパスは東京都心・六本木に位置し、全学生の約3分の2が留学生という極めて国際的な環境です。英語による科目の履修を通じて、世界各国の政府部門で働くミッドキャリアである留学生達との政策議論に挑戦してください。また、交流イベント等を通じた学生間の国際交流も積極的に支援しています。このような環境を通じて、修了後のキャリアにおいても貴重な財産となる人的ネットワークを構築してください。



充実した英語サポート

本学に設置されたプロフェッショナル・コミュニケーションセンター(CPC)では、大学院教育に求められる高度なアカデミック英語だけでなく、GRIPS修了後に、プロフェッショナルとして国際的な現場で生かすことのできる実践的な英語のトレーニングなど、英語に関するあらゆるサポートを行っています。

プロフェッショナルとして求められる会話、プレゼンテーション、議論、文書作成等に関する英語力を身につけるためのワークショップ、英語で行われる講義を履修したい日本人学生向けのLanguage Support Program for Japanese Students、英語学習の教材の閲覧や、学生同士のコミュニケーションの場として自由に使用できるコミュニケーションラウンジなど、充実したサポート環境を最大限に活用してください。



■お問い合わせ先

国立大学法人 政策研究大学院大学
アドミッションズ・オフィス
〒106-8677 東京都港区六本木 7-22-1
Email : admissions@grips.ac.jp

